

【資料1】

愛媛県地域医療構想(H28.3策定)で定めた必要病床数と病床機能報告制度による報告状況

各医療構想の医療需要、2025年(R7)必要病床数(推計値)

構想区域	医療需要(単位:人/日)					必要病床数(単位:床)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	在宅等	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	38	247	265	200	933	51	317	294	217
新居浜・西条	147	644	609	596	3,425	196	826	677	648
今治	89	532	637	396	2,263	119	682	708	430
松山	586	1,556	1,860	1,689	11,986	781	1,995	2,067	1,836
八幡浜・大洲	44	379	624	408	2,680	59	486	693	443
宇和島	90	326	409	281	1,862	120	418	454	305

(参考)高度急性期機能は医療機関所在地を元に、急性期・回復期・慢性期は患者住所地を元に医療需要を算出

①2014年(H26)7月1日現在の病床機能報告制度の報告状況(許可病床により推計)

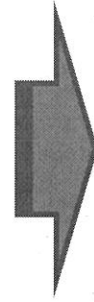
構想区域	医療需要(単位:人/日)					6年後の予定(単位:床)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	10	586	86	526		10	551	121	526
新居浜・西条	10	1,821	146	947		10	1,883	296	902
今治	17	1,432	255	674		17	1,432	236	693
松山	2,136	2,859	895	3,034		2,163	2,596	1,364	2,801
八幡浜・大洲	0	927	203	602		0	959	226	634
宇和島	20	1,219	198	591		20	1,115	302	591

②2015年(H27)7月1日現在の病床機能報告制度の報告状況(許可病床により推計)

構想区域	医療需要(単位:人/日)					6年後の予定(単位:床)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	10	452	184	473		55	407	184	454
新居浜・西条	44	1,626	205	949		44	1,719	287	899
今治	30	1,372	256	687		30	1,336	247	687
松山	2,110	3,034	941	2,750		2,149	2,874	1,122	2,684
八幡浜・大洲	0	1,052	198	717		0	1,033	305	610
宇和島	20	1,059	279	586		20	1,046	310	586

③2016年7月1日(H28)現在の病床機能報告制度の報告状況(許可病床により推計)

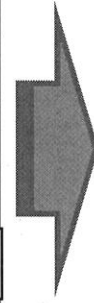
構想区域	医療需要(単位:人/日)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	10	452	174	401
新居浜・西条	44	1,701	276	703
今治	23	1,378	213	764
松山	2,077	3,023	1,001	2,668
八幡浜・大洲	0	1,028	235	689
宇和島	30	1,049	281	563



6年後の予定(単位:床)			
高度急性期	急性期	回復期	慢性期
62	440	174	342
44	1,546	411	703
23	1,367	256	721
2,174	2,917	1,165	25,331
0	984	314	629
30	1,049	310	544

④2017年7月1日(H29)現在の病床機能報告制度の報告状況(許可病床により推計)

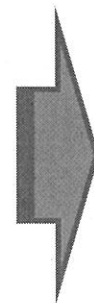
構想区域	医療需要(単位:人/日)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	10	488	133	323
新居浜・西条	40	1,395	392	843
今治	23	1,389	176	706
松山	1,018	4,030	1,200	2,401
八幡浜・大洲	0	1,003	235	524
宇和島	30	1,082	168	564



6年後の予定(単位:床)			
高度急性期	急性期	回復期	慢性期
107	346	178	250
40	1,348	461	817
23	1,356	157	624
1,063	3,658	1,575	2,118
0	973	276	511
30	1,082	168	500

⑤2018年7月1日(H30)現在の病床機能報告制度の報告状況(許可病床により推計)

構想区域	医療需要(単位:人/日)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	64	375	211	323
新居浜・西条	44	1,550	460	826
今治	26	1,192	189	758
松山	1,032	3,720	1,490	2,515
八幡浜・大洲	0	956	307	552
宇和島	30	1,027	258	508



2025年の予定(単位:床)			
高度急性期	急性期	回復期	慢性期
107	287	256	131
63	1,531	521	816
26	1,187	176	496
1,065	3,641	1,654	2,210
0	1,042	307	464
30	1,027	239	413

⑥2019年7月1日(R元)現在の病床機能報告制度の報告状況(許可病床により推計)

構想区域	医療需要(単位:人/日)			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	69	370	211	323
新居浜・西条	40	1,522	457	785
今治	26	1,251	213	618
松山	1,024	3,716	1,449	2,410
八幡浜・大洲	0	906	265	539
宇和島	30	1,012	258	467



2025年の予定(単位:床)			
高度急性期	急性期	回復期	慢性期
103	231	312	143
42	1,415	568	760
26	1,114	230	472
672	3,401	1,290	2,029
0	821	91	319
30	984	249	391

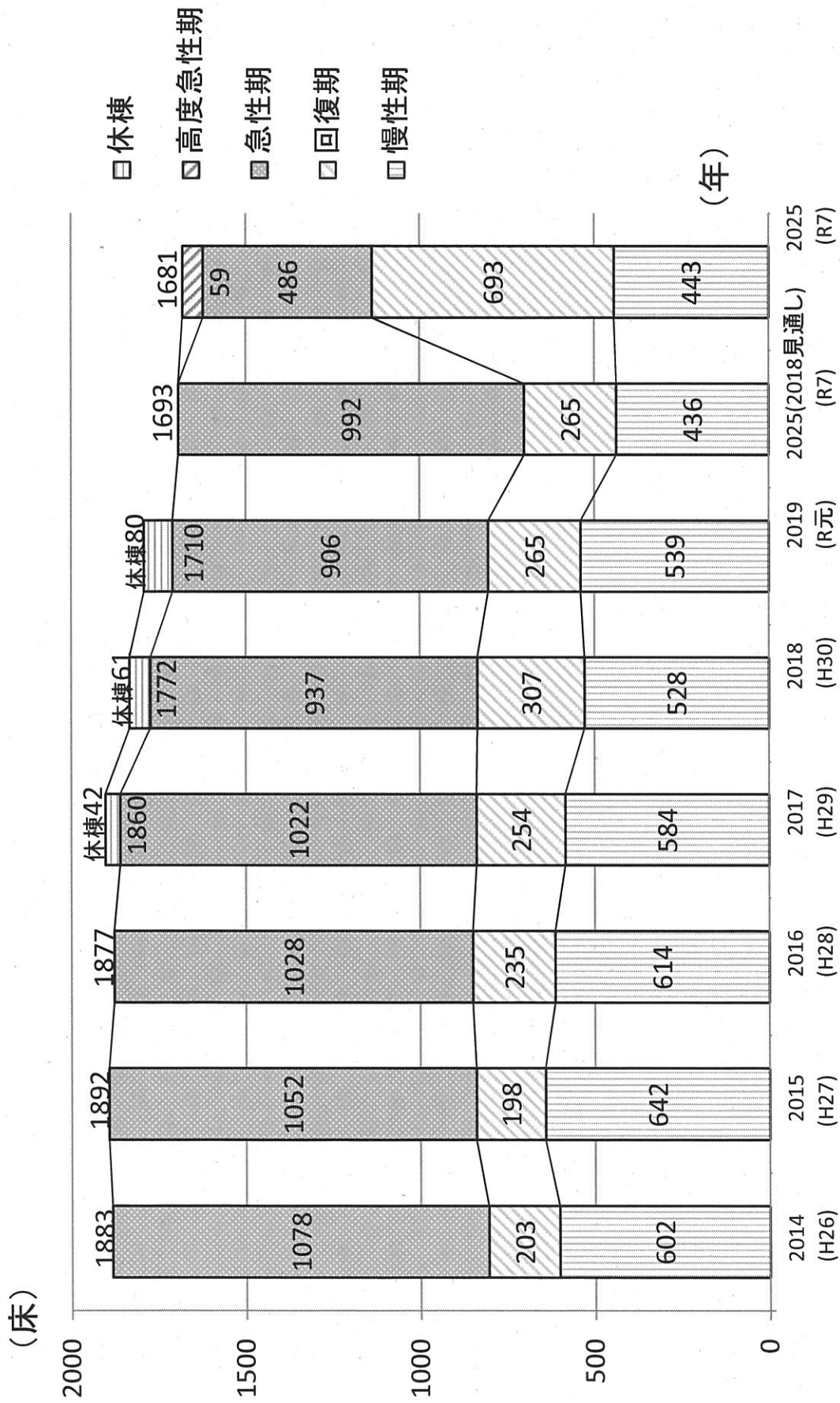
病機能報告制度一覧表(許可病床による集計・病床機能報告が許可病床を差異があった医療機関は、許可病床に修正しております)

種別	市町	施設名称	(2014年7月1日現在)			(2019年7月1日現在)			(2020年12月31日現在)			(2025年(2018年7月1日現在の見直し))			(2025年必要病床数)				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	許可病床数(一般・療養)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	体構	回復期	急性期	慢性期
病院	八幡浜市	市立八幡浜総合病院	0	223	0	0	0	0	254	0	254	0	0	0	0	0	0	0	0
		医療法人青峰堂真淵代りらハセリチーオン病棟	0	0	120	0	0	0	0	89	0	0	46	43	0	0	0	0	0
	宇都宮病院	宇都宮病院	0	0	0	120	0	0	0	120	0	0	0	120	0	0	0	0	0
		医療法人広仁会広瀬病院	0	31	0	45	0	31	0	45	0	31	0	45	0	0	0	0	0
	大洲市	豊多医師会病院	0	175	0	38	0	108	50	41	0	108	50	41	0	0	0	0	0
		医療法人北斗会大洲中央病院	0	83	45	70	0	113	45	24	0	113	45	24	0	0	0	0	0
	大洲市	市立大洲病院	0	151	0	0	0	101	41	0	0	101	41	0	0	0	0	0	0
		大洲記念病院	0	44	0	47	0	50	45	0	0	50	45	0	0	0	0	0	0
	西予市	医療法人藍嵐会石村病院	0	0	0	75	0	0	0	75	0	0	0	22	0	0	0	0	0
		西予市立西予市民病院	0	90	0	52	0	102	0	50	0	152	0	0	0	0	0	0	0
西予市	西予市立野村病院	0	120	0	0	0	88	0	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	
	三瓶病院	0	0	0	47	0	0	0	47	0	0	0	47	0	0	0	0	0	
内子町	加戸病院	0	53	0	35	0	52	0	40	0	52	0	40	0	0	0	0	0	
	矢野脳神経外科医院	0	19	0	0	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	
八幡浜市	医療法人社団池田医院	0	0	0	16	0	0	0	16	0	0	0	16	0	0	0	0	0	
	よしもとレディースクリニック	0	14	0	0	0	14	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
西予市	医療法人かわばた産婦人科	0	10	0	0	0	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	
	医療法人亀井小児科	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	
西予市	かどた医院	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	
	整形外科井間医院	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	
内子町	土居内科外科医院	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	
	伊方町国民健康保険除瀬戸診療所	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	
大洲市	東大洲城戸眼科	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	
	久保内科循環器科	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	
大洲市	医療法人社団小泉産婦人科医院	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	
	医療法人大洲なほクリニック	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大洲市	医療法人緑風会神南診療所	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	
	社会福祉法人恩賜財団済生会小田診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計			0	1078	203	602	0	906	265	539	0	992	265	436	0	1693	0	0	

市立大洲病院、石村病院の病床数を修正

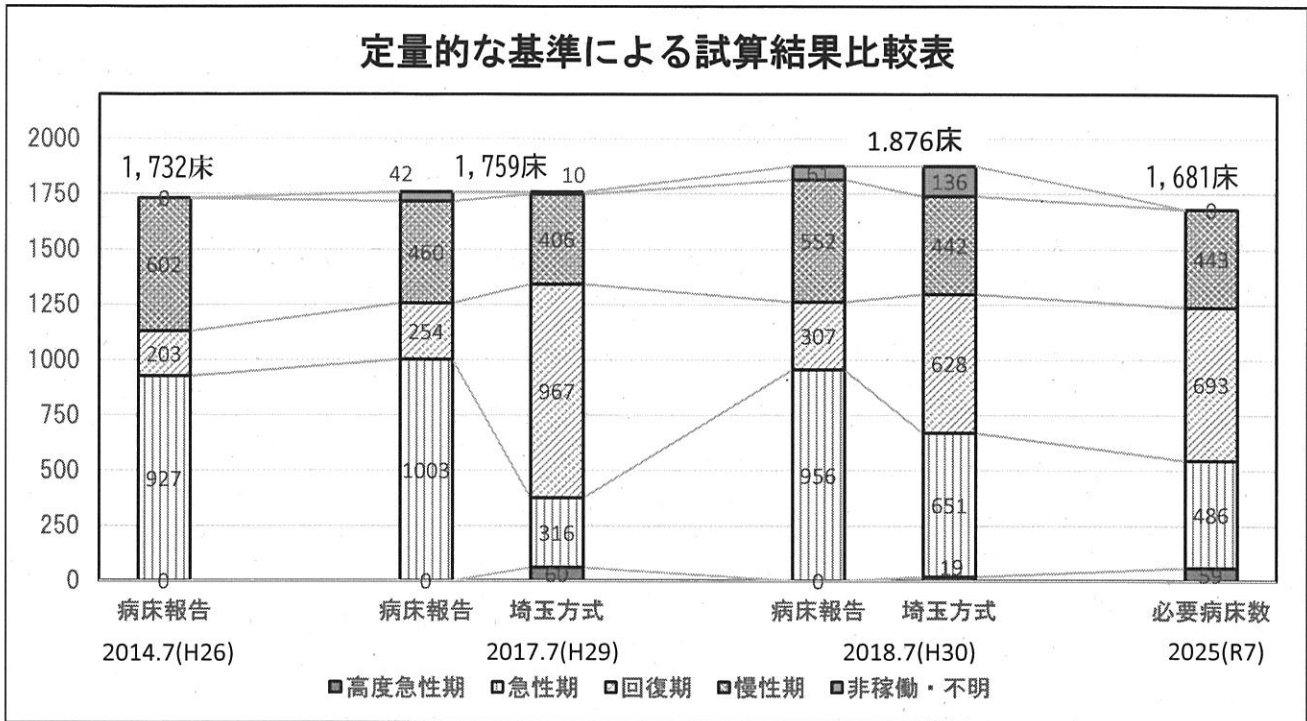
報告年	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	体構廃止
2014年報告	0	1,078	203	602	1,883	0
2019年報告	0	906	265	539	1,710	80
2025年予定病床数(2018年時)	0	992	265	436	1,693	6
2025年必要病床数	59	486	693	443	1,681	

病床機能報告制度の経年変化(確定データを修正)



医療機関の病床機能報告に許可病床数と差異があった場合、許可病床数に修正しています。(国の確定値から修正)

○定量的な基準(埼玉方式)を適用した病床数



※定量的な基準の導入検討を開始した時点で2017年度(H29)病床機能報告の集計が終了(未確定)していなかったため、平成30年5月7日時点(未確定)の集計データを使用している。(P2の病床機能報告の確定値と差異が生じている)

○定量的な基準(埼玉方式)を適用した病床数の比較表

1) 定量的な基準による試算結果と地域医療構想における必要病床数の比較表

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・不明
定量的な基準分析後(H30)	1,740	19	651	628	442	136
地域医療構想における病床の必要量(R7)	1,681	59	486	693	443	
定量的な基準分析後 - 地域医療構想病床数	59	-40	165	-65	-1	136

2) 定量的な基準による試算結果の2017年(H29)と2018年(H30)との比較表

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・不明
地域医療構想における病床の必要量(R7)	1,681	59	486	693	443	
定量的な基準分析後(H29)	1,749	60	316	967	406	10
定量的な基準分析後(H30)	1,740	19	651	628	442	136
H30年とH29年の分析の差	-9	-41	335	-339	36	

○病床機能報告の制度(病棟単位の病床数報告)の問題により、実態と乖離している場合があり、昨年度から愛媛県は病床機能報告のほか、定量的な分析(埼玉方式)についても検討することになっている。

①高度急性期

- ・ 2025年(R7)必要病床数59床と比較すると、高度急性期40床不足となった。2017年(H29)と 2018年(30年)を比較すると60床から19床となり、高度急性期の稼働は減少となった。
- ・ 2017年(H29)及び2018年(H30)の高度急性期の病床機能報告は0床であるが、定量的基準の評価では2017年(H29)は60床、2018年(H30)は19床の稼働しており、高度急性期は病床機能報告の中で、病院が急性期に分類して、報告していると考えられる。これは、病床機能報告制度(病棟単位での病床数報告)に問題があり、また、病院・地域から高度急性期の運用に支障がある報告もないことから、地域医療構想上問題ないと考えられる。

②急性期

- ・ 2025年必要病床数486床と比較すると、165床過剰となった。H29年と30年を比較すると316床から651床となり、急性期の稼働は増加となった。

③回復期

- ・ 2025年(R7)必要病床数693床と比較すると、回復期は65床不足となった。2017年(H29)と2018年(H30)を比較すると967床から628床となり、回復期の稼働は減少となった。
- ・ 2017年(H29)の回復期の病床機能報告は254床であるが、定量的基準の評価では967床、2018年(H30)の回復期の病床機能報告は307床であるが、定量的な基準の評価では628床を稼働しており、回復期は病床機能報告の中で、病院が一部急性期に分類して、報告していると考えられる。これは、病床機能報告の制度に問題があり、病院・地域から回復期に運用に支障がある報告もないことから、地域医療構想上問題ないと考えられる。

④慢性期

- ・ 2025年必要病床数443床と比較すると、1床不足となった。H29年と30年を比較すると406床から442床となり、慢性期の稼働は増加となった。

☆まとめ

- ・ 年度により多少の増減はあるが、全体として目標年度である2025年(R7)の病床数に向けて収れんしており、八幡浜・大洲地域地域医療構想区域において問題ないと考えられる。